

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90113	芸術表現総合比較研究Ⅱ	2単位 通年	2・3	演習	芸術文化学研究科 各指導教員 又は担当教員

■テーマ

芸術理論と実技の統合

■授業の概要

芸術表現総合比較研究Ⅰをすでに履修している学生を対象とする。

実技と理論の総合を目指すことを目的として設けられた科目である。芸術の題材、表現方式等について、創作・演奏・演出等の実際に則して総合比較研究を行い、芸術表現の本質と各ジャンルの特性を明らかにすることを目標とする。

博士論文作成をめざす学生は、自己の研究課題に関連する実技について指導を受けるとともに、専門分野の異なる研究者の指導・助言を受けることを通して、共同研究を行う。研究作品・研究演奏と博士論文の作成をめざす学生は、自己の研究課題やそれに関連する分野の学術研究について、他の教員の指導を受けられることを通して、共同研究を行う。いずれの場合も、具体的な内容は指導教員がコーディネートするので、指導教員とよく相談して計画を立てること。

学生の研究課題によっては、芸術文化学研究科担当教員以外の教員（非常勤講師を含む）の指導を受けることも可能である。

■到達目標

- ・ 自己の研究課題を充実させることのできる学習成果、研究成果をあげること。

■授業計画・方法

学生の研究テーマに沿って、実技担当教員または非常勤講師を決め、その教員と学生の担当教員との共同により演習を進める。定期試験は実施しない。

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・ 学生の主体的な研究が求められる。

■成績評価の方法・基準

□方法

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

コーディネートする指導教員が、指導に関与した各教員と協議の上、平常の当該研究への取り組みについて（50%）、またはレポート等の成果をふまえ（50%）、総合的に評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

□教科書

□テキスト

□参考文献

特になし